株式会社　ネオビエント

# ～令和４年度 環境経営レポート～

（取組期間：令和4年4月～令和5年3月）

®環境省

エコアクション21

認証番号0007711

発行日：令和5年9月1日

# 環　境　経　営　方　針

◆基本理念

私たち株式会社ネオビエントは経営理念「笑顔あふれる元気な徳島を創る」を基本に、指定管理事業としての施設の維持管理・運営およびイベントプロデュース事業において、ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の目指す多様性と包摂性のある社会の実現に向け、全社員が積極的に環境負荷の低減及び環境配慮サービスの提供に取り組むことで、地域さらには地球の環境保全に貢献していきます。

◆行動指針

１．施設の管理運営やイベント事業を通じた環境啓発活動の推進
ＳＤＧｓを踏まえた環境等をテーマとしたイベントをプロデュースし、普及に努めます。
また、施設や当社プロデュースイベントをご利用いただく方の環境行動を促進するための啓発活動を積極的に行います。

２．法令の順守と社会的責任の遂行
環境関連の法令、徳島県条例、北島町条例、徳島市条例、鳴門市条例、その他を順守します。

３．継続的環境改善の実施
具体的に次のことに関する目的と目標を定め、継続的な環境改善に取り組みます。
①電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
②廃棄物の３R（減量、再使用、再生利用）の促進
③水資源の節水
④指定管理事業・イベント事業における環境イベントの推進や配慮したイベントの展開
⑤施設周辺の清掃活動の推進
⑥化学物質の適正使用・管理

４．環境経営方針を全社員に周知し、全社員はこの方針をよく理解し継続的に環境保全に努める他、環境経営レポートや自社ホームページにより公表します。

上記の方針のために、利用者や社会の要望を踏まえ、目標を設定し、定期的に見直すなど、環境経営システムを推進するとともに、これを担う人材を育成することを通じ、環境経営の継続的改善に努めます。

制定日：平成22年10月 1日
改正日：平成27年11月 1日
改正日：令和 4年 4月 1日

株式会社ネオビエント
代表取締役　　藍原 理津子

1．取組の対象組織・活動の明確化

## 令和4年度　取組の対象組織・活動

□組織の概要

（１）名称及び代表者名

株式会社ネオビエント　　代表取締役　藍原　理津子

（２）所在地

本　　社　　徳島県板野郡北島町太郎八須字西ノ瀬34-8

指定管理施設

徳島県立あすたむらんど　　徳島県板野郡板野町那東字キビガ谷45-22

徳島県立渦の道　　徳島県鳴門市鳴門町（鳴門公園内）

徳島県立大鳴門橋架橋記念館　　徳島県鳴門市鳴門町（鳴門公園内）

受託管理施設

川口ダム自然ｴﾈﾙｷﾞｰﾐｭｰｼﾞｱﾑ　　徳島県那賀郡那賀町吉野字イヤ谷72-1

（３）環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者　　専務取締役

ＴＥＬ：088-698-7788

担当者　　徳島県立あすたむらんど　環境推進グループ長

ＴＥＬ：088-672-7114

（４）事業内容

①地域情報サイト運営、地方公共団体等が所有する公園・観光施設・文化施設の管理運営（指定管理事業・管理業務受託）

②観光に関する調査、研究、分析及び助言並びに情報収集

③イベントの企画、運営及び提案

④接遇研修、マナー研修等社員教育研修事業

（５）事業の規模

売上　1,446,529千円　（令和4年度）

| | 本　社 | 指定管理施設 | | | 受託管理施設 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 徳島県立あすたむらんど | 徳島県立渦の道 | 徳島県立大鳴門橋架橋記念館 | 川口ダム自然エネルギーミュージアム | |
| 社員数 | 20名 | 35名 | 7名 | | 1名 | 63名 |
| （契約・パート社員数） | （3名） | （26名） | （5名） | | （6名） | （40名） |
| 延べ床面積 | 531㎡ | 12,200㎡ | 1,998㎡ | 2,660㎡ | 166㎡ | 17,555㎡ |

（６）事業年度　　令和4年4月～令和5年3月

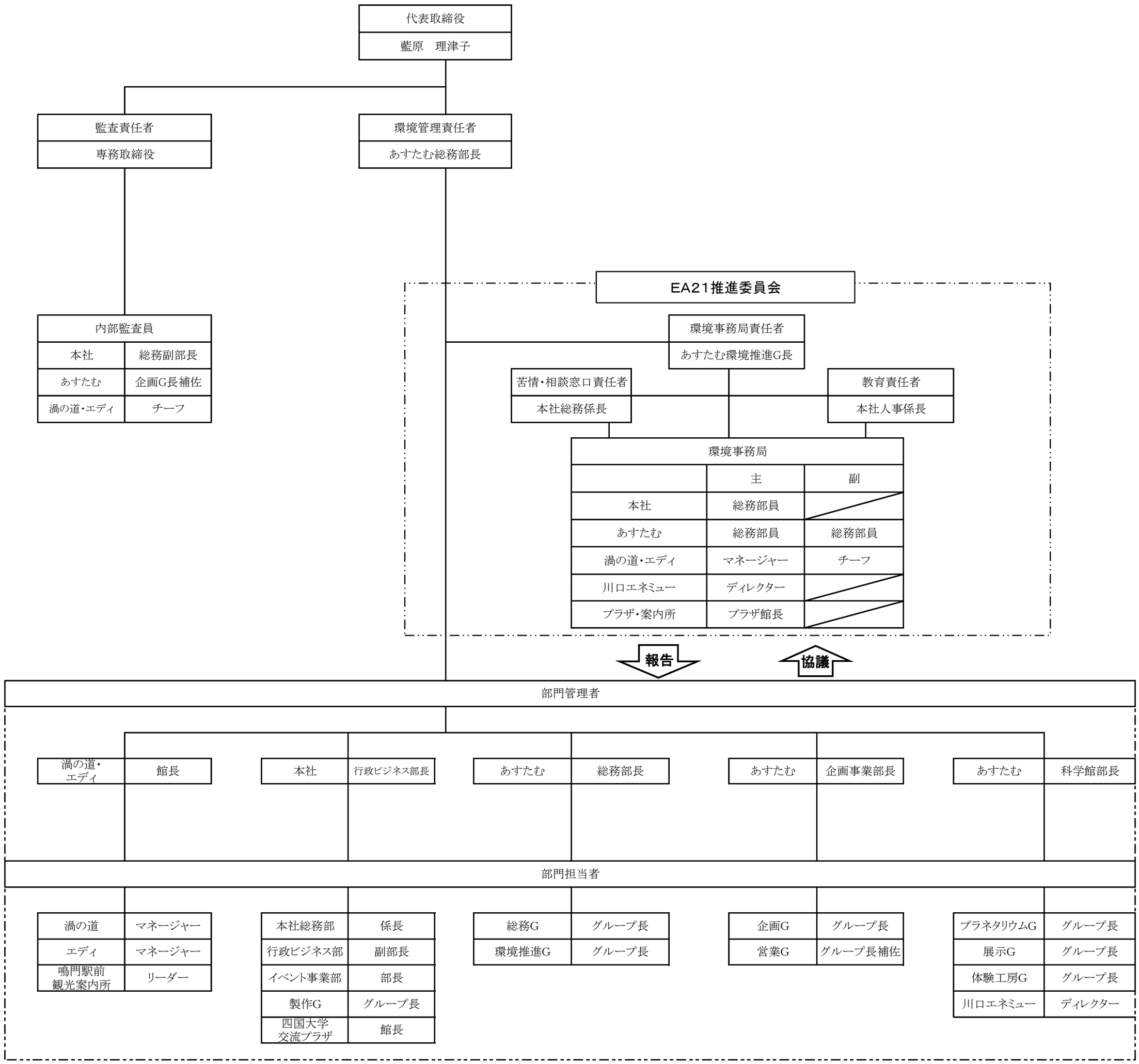
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：　　株式会社ネオビエント

対象事業所：　　本社

活　　動：　　全組織・全活動

# (株)ネオビエント エコアクション21実施体制図



□実施体制図及び役割・責任・権限表

| | 役 割 ・ 責 任 ・ 権 限 |
|---|---|
| 代表者(社長) | ・環境経営に関する統括責任<br>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備<br>・環境管理責任者を任命<br>・環境経営方針の策定・見直し及び全社員へ周知<br>・環境経営目標・環境経営計画書を承認<br>・内部監査責任者の任命<br>・内部監査計画の承認<br>・内部監査報告の承認<br>・代表者による全体の評価と見直しを実施<br>・環境経営レポートの承認<br>・課題とチャンスの明確化 |
| 環境管理責任者 | ・環境経営システムの構築、実施、管理、<br>・環境関連法規等の取りまとめ票を承認<br>・環境経営目標・環境経営計画書を確認<br>・各部門の手順書および運用管理の承認<br>・教育訓練の計画および実施の承認<br>・各部門の緊急事態への対応手順書の承認<br>・各部門の問題点および是正、予防処置の承認<br>・環境活動の取組結果を代表者へ報告<br>・環境経営レポートの確認 |
| 環境事務局 | ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局<br>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施<br>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成<br>・環境活動の実績集計<br>・環境関連法規等取りまとめ表の作成<br>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施<br>・教育訓練の計画および実施および記録の作成<br>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口<br>・環境経営レポート原案の作成<br>・環境経営レポートの公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） |
| 部門長および部門担当者 | ・自部門における環境経営システムの実施<br>・自部門における環境経営方針の周知<br>・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告<br>・特定された項目の手順書作成及び運用管理<br>・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成<br>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 |
| 監査責任者および内部監査員 | ・内部監査の計画および実施<br>・監査結果の報告 |
| 全社員 | ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚<br>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 |

## □環境負荷実績と環境経営目標（中・長期）

目標の設定にあたって（設定基準は、各事業所の基準年度実績の合計）

①各施設の平成30年度～令和元年度実績の平均を基準とし、令和4年度が基準値の97%、令和5年度が96%、令和6年度を95%、全体で3年間に5%の削減を目標としました。

②施設毎に目標値を設定しています。なお、本社の目標については令和元年11月にテナントビルから自社建屋への移転などを踏まえ、令和3年度実績をベースに策定しています。

（全体）

| 項目 ＼ 年度 | | 設定基準 H30～R元平均 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | （目標） | （目標） | （目標） |
| 電力の使用量削減 | 単位：kWh | 2,163,321 | **2,098,421** | 2,076,788 | 2,055,155 |
| 化石燃料の使用量削減 | 単位：ℓ | 107,849 | **104,614** | 103,535 | 102,457 |
| 二酸化炭素排出量の削減 | 単位：kg-CO2 | 1,527,550 | **1,481,724** | 1,466,448 | 1,451,173 |
| 一般廃棄物の削減 | 単位：t | 81.37 | **78.93** | 78.12 | 77.30 |
| 産業廃棄物の削減 | 単位：t | 23.47 | **22.77** | 22.53 | 22.30 |
| 水使用量の削減 | 単位：㎥ | 53,981 | **52,361** | 51,821 | 51,281 |
| OA紙の削減 | 単位：枚 | 509,106 | **493,833** | 488,742 | 483,651 |
| 化学物質の管理<br>目標：化学物質の適正な管理を行う | | | 適正な管理 | | |
| 環境配慮型事業<br>目標：環境イベントの推進 | | | 環境に配慮した活動を実施 | | |

## □環境経営目標及びその実績・評価（当年度）

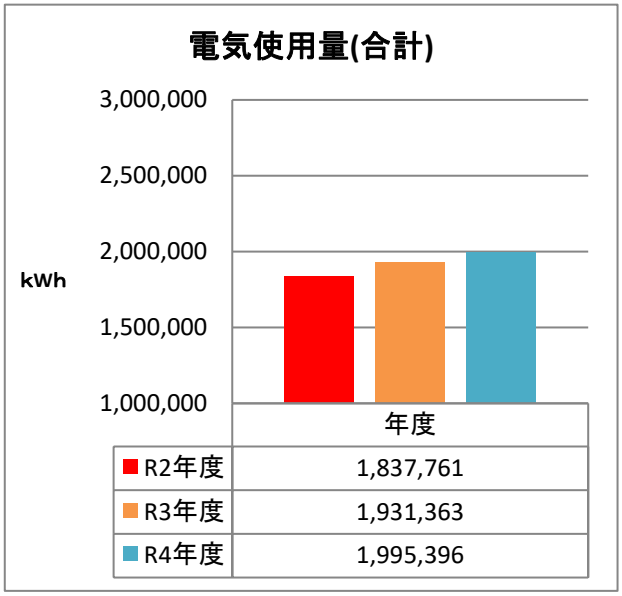
※購入電力の二酸化炭素排出係数は、4月～6月は、0.596kg-CO2／kWh、
7月～3月は、0.533kg-CO2／kWhとしています。

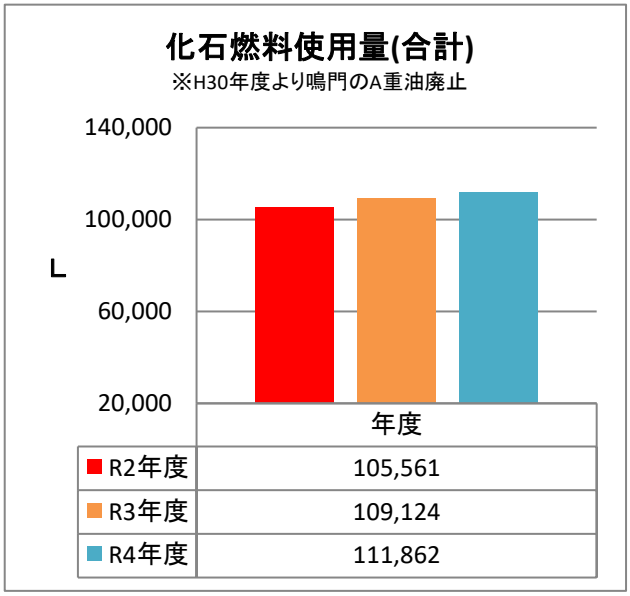
| 項目 ＼ 年度 | | 令和4年度 4月～3月 | | | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | （目標） | （実績） | 達成状況 | |
| 電力の使用量削減 | 単位：kWh | 2,098,421 | **1,995,396** | **105.2%** | ○ |
| 化石燃料の使用量削減 | 単位：ℓ | 104,614 | **111,862** | **93.5%** | × |
| 二酸化炭素排出量の削減 | 単位：kg-CO2 | 1,481,724 | **1,387,272** | **106.8%** | ○ |
| 一般廃棄物の削減 | 単位：t | 78.93 | **56.17** | **140.5%** | ○ |
| 産業廃棄物の削減 | 単位：t | 22.77 | **7.49** | **304.0%** | ○ |
| 水使用量の削減 | 単位：㎥ | 52,361 | **35,579** | **147.2%** | ○ |
| OA紙の削減 | 単位：枚 | 493,833 | **536,970** | **92.0%** | × |
| 化学物質の管理 | | 適正な管理 | ○ | | ○ |
| 環境配慮型事業 | 1. カブトムシ堆肥作製 | エコサイクルを学び、堆肥で育ったカブトムシの採集体験を実施。 | | | ○ |
| | 2. 会社周辺の清掃活動 | 本社は週1回、あすたむ年2回、鳴門施設・川口ﾀﾞﾑでは毎日、事業所周辺の清掃活動を行った。 | | | ○ |
| | 3. 水鉄砲散水イベント | 竹の水鉄砲を使って、池の水で花の水やり体験を通して水の有効利用について学んだ。 | | | ○ |
| | 4. ネイチャーゲーム | 鳴門公園の自然や生き物を、見て、触れるフィールドワークを実施。 | | | ○ |
| | 5. SDGsワークショップ | 畳表の端材を活用した畳ランチマット作り、ミツロウを活用したキャンドル作りなどを実施。 | | | ○ |
| | 6. 廃材を再利用する工作イベント | 木の廃材や廃材となった藍染杉を使って、参加者に自由に加工してもらった。 | | | ○ |

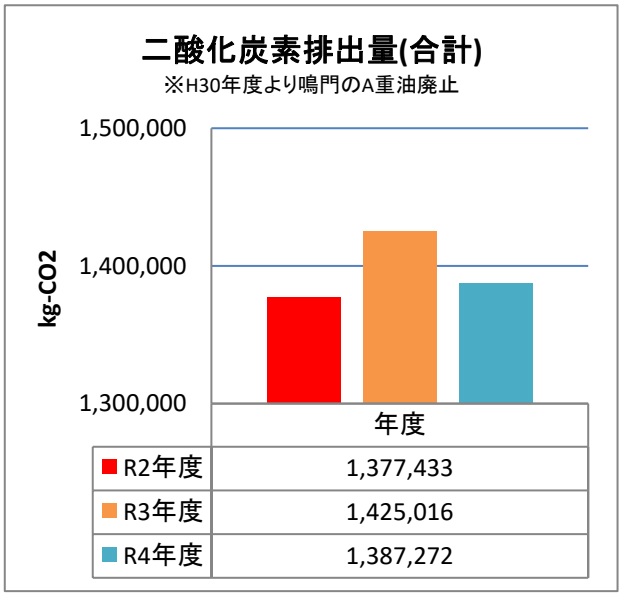
※あすたむらんどでは化石燃料を使用した空調を使用しているが、夏場（7月～9月）の平均気温が10年間で一番高く、冬場（12月～2月）の平均気温も10年間で5番目に低かったため、使用量が増加した。

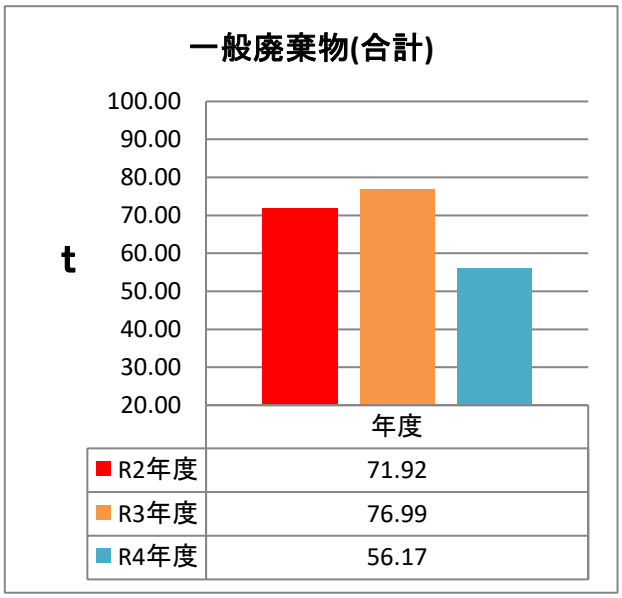
※OA紙の削減は、社全体で受託事務局業務や新規事業が増えたため、多くの提出資料や告知資料の作成が必要となり、印刷枚数が増え、OA紙の使用量が大幅に増えた。

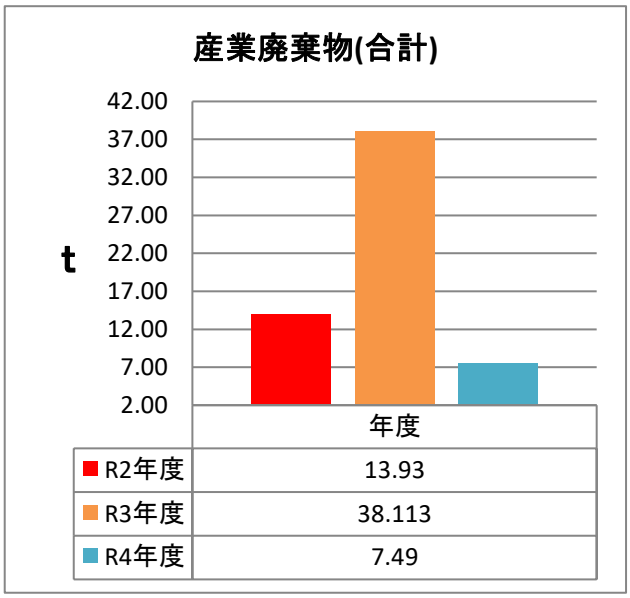
□環境負荷実績（グラフ）

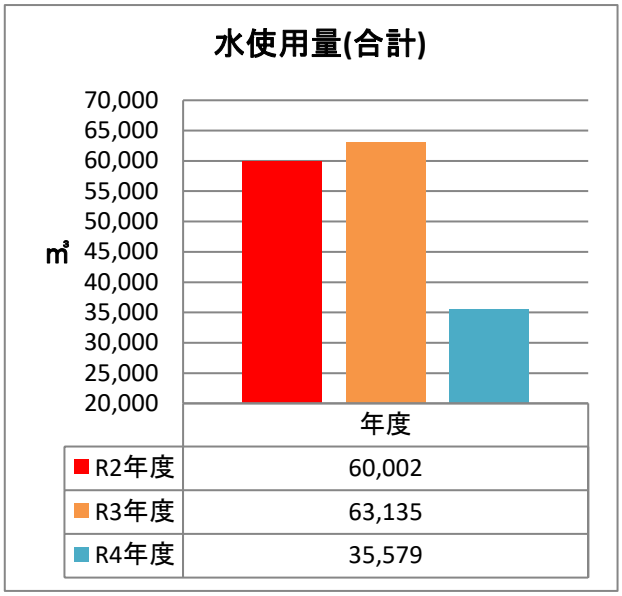

電気使用量(合計)
3,000,000
2,500,000
2,000,000
1,500,000
1,000,000
kWh
年度
R2年度 1,837,761
R3年度 1,931,363
R4年度 1,995,396

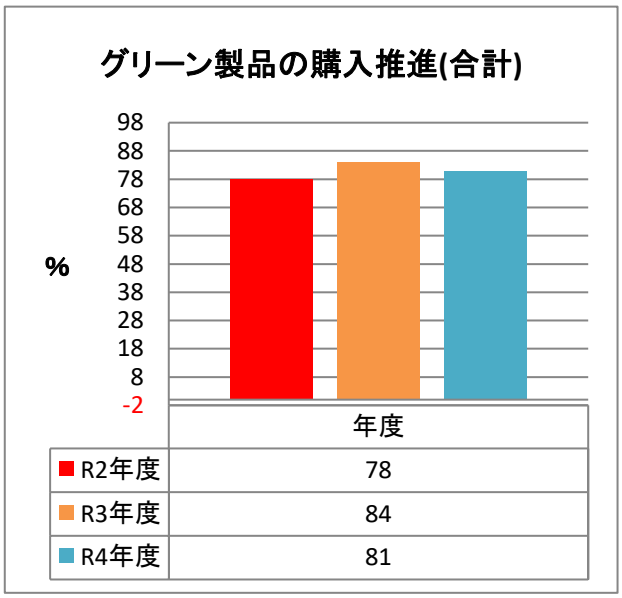

化石燃料使用量(合計)
※H30年度より鳴門のA重油廃止
140,000
100,000
60,000
20,000
L
年度
R2年度 105,561
R3年度 109,124
R4年度 111,862

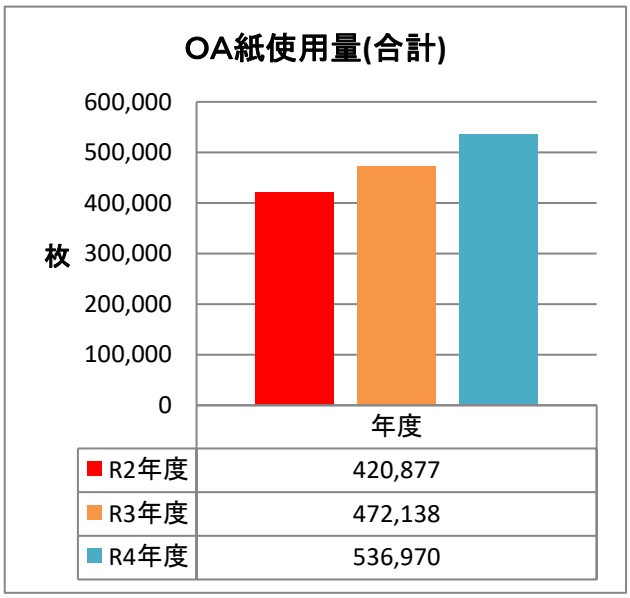

二酸化炭素排出量(合計)
※H30年度より鳴門のA重油廃止
1,500,000
1,400,000
1,300,000
kg-CO2
年度
R2年度 1,377,433
R3年度 1,425,016
R4年度 1,387,272


一般廃棄物(合計)
100.00
90.00
80.00
70.00
60.00
50.00
40.00
30.00
20.00
t
年度
R2年度 71.92
R3年度 76.99
R4年度 56.17


産業廃棄物(合計)
42.00
37.00
32.00
27.00
22.00
17.00
12.00
7.00
2.00
t
年度
R2年度 13.93
R3年度 38.113
R4年度 7.49


水使用量(合計)
70,000
65,000
60,000
55,000
50,000
㎥ 45,000
40,000
35,000
30,000
25,000
20,000
年度
R2年度 60,002
R3年度 63,135
R4年度 35,579


グリーン製品の購入推進(合計)
98
88
78
68
58
48
38
28
18
8
-2
%
年度
R2年度 78
R3年度 84
R4年度 81


OA紙使用量(合計)
600,000
500,000
400,000
300,000
200,000
100,000
0
枚
年度
R2年度 420,877
R3年度 472,138
R4年度 536,970

## □環境経営計画及び実施状況（当年度）

実施状況…○、△、×、－:実施なし

| 取り組み計画 | 実施状況 | 日程 | 責任者 | 評　価（結果と今後の方向） |
|---|---|---|---|---|
| **電力による二酸化炭素排出量の削減** | | | | |
| ・離席時、長時間使用しない場合のPC電源OFF | ○ | 通年 | 本社行政ビジネス部長<br>あすたむらんど徳島環境推進G長<br>渦の道・エディ館長<br>川ロダム巡回ディレクター | 電力使用量と二酸化炭素排出量は目標達成。<br>勤務時間の調整やこまめな節電により、年々削減できている。冷暖房を入れる季節は使用時間の増加が見込まれるので、部屋ごとの室温の見直し、守れているかチェックを実施し、さらに節電に努めていく。また、本社の受託事業の増加に伴い人員変更があるため、人員に応じた目標設定に変更する。 |
| ・夜間・休日のPC，プリンターOFF | ○ | 通年 | | |
| ・空調機フィルターの定期清掃 | ○ | 定期 | | |
| ・室温の適正温度設定・確認（夏期：28度、冬期：19度） | ○ | 夏季・冬季 | | |
| ・LED照明導入 | ○ | 通年 | | |
| ・「ノー残業デー」の推進 | ○ | 通年 | | |
| ・不要照明の消灯 | ○ | 通年 | | |
| **化石燃料による二酸化炭素排出量の削減** | | | | |
| ・エコドライブの教育普及 | ○ | 通年 | 本社行政ビジネス部長<br>あすたむらんど徳島環境推進G長<br>渦の道・エディ館長<br>川ロダム巡回ディレクター | 化石燃料使用量は目標未達成。<br>冷暖房使用時にA重油使用量が増加した。<br>社用車の早めの点検や季節ごとのタイヤ交換を行い出張等にかかるガソリン使用量を抑えていく。 |
| ・日報距離・給油記録をつける | ○ | 通年 | | |
| ・空調機フィルターの定期清掃 | ○ | 定期 | | |
| ・室温の適正温度設定・確認（夏期：28度、冬期：19度） | ○ | 夏季・冬季 | | |
| ・温度計の設置拡大 | － | 通年 | | |
| **一般廃棄物の削減** | | | | |
| ・詰替製品の利用 | ○ | 通年 | 本社行政ビジネス部長<br>あすたむらんど徳島環境推進G長<br>渦の道・エディ館長<br>川ロダム巡回ディレクター | 一般廃棄物排出量は目標達成。<br>目標は達成しているが、本社の受託事業の増加に伴い廃棄物が多くなる傾向にある。<br>人員に対応した目標設定に変更する。 |
| ・分別回収ボックスの設置 | ○ | 通年 | | |
| ・可燃ゴミと資源ゴミの分別 | ○ | 通年 | | |
| ・シュレッダー廃紙・古紙類のリサイクル化 | ○ | 通年 | | |
| ・職員のゴミ持ち帰り | ○ | 通年 | | |
| **産業廃棄物（廃プラ）の削減** | | | | |
| ・再使用、リサイクルしやすい製品の優先購入 | ○ | 通年 | あすたむらんど徳島環境推進G長 | 産業廃棄物排出量は目標未達成。<br>おもちゃ美術館の改修工事と同時に実施した、食堂の改修作業で不必要な産業廃棄物が多く出た。リサイクル出来る物が少なくなってきているので、業者との連携でリサイクルルートを増やして行く。 |
| ・購入業者とリサイクルルートの確立 | △ | 随時 | | |
| **水の削減** | | | | |
| ・日常の節水 | ○ | 通年 | 本社行政ビジネス部長<br>あすたむらんど徳島環境推進G長<br>渦の道・エディ館長<br>川ロダム巡回ディレクター | 水使用量は目標達成。<br>あすたむにて、機器の不具合の水漏れや夏場の植栽の水やりや散水イベントで多くなっている。機器の修繕や植栽の水のやり方などを考え削減して行く。 |
| ・流水音発生装置の設置 | △ | 4月 | | |
| ・節水コマの取付拡大 | － | 4月 | | |
| ・水補充量の記録 | ○ | 通年 | | |
| ・閉め忘れ防止策設置 | × | 4月 | | |
| **OA紙の削減** | | | | |
| ・コピー用紙の裏面および両面使用 | ○ | 通年 | 本社行政ビジネス部長<br>あすたむらんど徳島環境推進G長<br>渦の道・エディ館長<br>川ロダム巡回ディレクター | OA紙の使用量は目標未達成。<br>本社では規模の大きい事務局業務を複数受託したためOA紙の使用も増加した。また、あすたむも新事業により増加傾向となった。削減は厳しかったが、コピーの裏紙利用や両面コピーの利用を周知し、継続してOA紙の削減に取り組んでいく。 |
| ・印刷前の枚数、大きさ確認 | ○ | 通年 | | |
| ・FAX用紙に裏紙使用 | ○ | 通年 | | |
| ・ミスの削減 | ○ | 通年 | | |
| ・社内資料のペーパーレス化 | △ | 4月 | | |
| ・使用枚数の見える化 | × | 通年 | | |
| **化学物質の管理** | | | | |
| ・保管状態の数量を定期的に点検する | ○ | 定期 | あすたむらんど徳島環境推進G長 | 毎月危険物と薬品の保管量・保管状態を確認。今後も仕様状況や法律改訂に応じて、安全データシートを整備していく。 |
| ・廃液は適正に処理する | － | 随時 | | |
| ・化学物質安全データシートの整備と周知 | ○ | 通年 | | |
| ・揮発性ガスの漏れ確認 | ○ | 通年 | | |
| **環境配慮型事業** | | | | |
| ・カブトムシ養殖堆肥作り及び環境学習 | ○ | 7月 | 本社行政ビジネス部長<br>あすたむらんど徳島環境推進G長<br>渦の道・エディ館長<br>川ロダム巡回ディレクター | 今年度も多くの方々に、環境イベントに参加いただいた。SDGsの視点を取り入れた環境イベントを実施し、参加者が体験を通して環境問題について考えるきっかけとなるよう企画した。また、前年度は実施できていなかった、本社周辺の清掃活動も実施した。次年度も、計画的に実施していきたい。 |
| ・会社周辺の清掃活動　週1回 本社 | ○ | 毎週 | | |
| 年2回あ | ○ | 6,1月 | | |
| 毎日 鳴門 | ○ | 毎日 | | |
| 毎日川口 | ○ | 毎日 | | |
| ・環境教育の普及イベント | ○ | 通年 | | |
| ・出張農園イベント | ○ | 通年 | | |

## □環境経営計画（次年度）

○：該当する、もしくは重点的に取り組む

| 取り組み計画 | 日程 | 責任者 | 全体 | 本社 | あすたむ | 鳴門 | 川口ﾀﾞﾑ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **電力による二酸化炭素排出量の削減** | | | | | | | |
| ・離席時、長時間使用しない場合のPC電源OFF | 通年 | 本社行政ビジネス部長<br>あすたむらんど徳島環境推進G長<br>渦の道・エディ館長<br>川口ダム巡回ディレクター | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| ・夜間・休日のPC，プリンターOFF | 通年 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ・空調機フィルターの定期清掃 | 定期 | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| ・室温の適正温度設定・確認（夏期：28度、冬期：19度） | 夏季・冬季 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ・LED照明導入 | 随時 | | ○ | | ○ | | |
| ・「ノー残業デー」の推進 | 通年 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ・不要照明の消灯 | 通年 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| **化石燃料による二酸化炭素排出量の削減** | | | | | | | |
| ・早めの車両点検、オイル交換の実施 | 通年 | 本社行政ビジネス部長<br>あすたむらんど徳島環境推進G長<br>渦の道・エディ館長<br>川口ダム巡回ディレクター | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ・エコドライブの教育普及 | 通年 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ・日報距離・給油記録をつける | 通年 | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| ・空調機フィルターの定期清掃 | 定期 | | ○ | | | | ○ |
| ・室温の適正温度設定・確認（夏期：28度、冬期：19度） | 夏季・冬季 | | ○ | | ○ | | ○ |
| ・温度計の設置拡大 | 随時 | | ○ | | ○ | | |
| **一般廃棄物の削減** | | | | | | | |
| ・詰替製品の利用 | 通年 | 本社行政ビジネス部長<br>あすたむらんど徳島環境推進G長<br>渦の道・エディ館長<br>川口ダム巡回ディレクター | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ・分別回収ボックスの設置 | 通年 | | ○ | | ○ | ○ | ○ |
| ・可燃ゴミと資源ゴミの分別 | 通年 | | ○ | | ○ | ○ | ○ |
| ・シュレッダー廃紙・古紙類のリサイクル化 | 通年 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ・職員のゴミ持ち帰り | 通年 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| **産業廃棄物（廃プラ）の削減** | | | | | | | |
| ・再使用、リサイクルしやすい製品の優先購入 | 通年 | あすたむらんど徳島環境推進G長 | ○ | | ○ | | ○ |
| ・購入業者とリサイクルルートの確立 | 通年 | | ○ | | ○ | | ○ |
| **水の削減** | | | | | | | |
| ・日常の節水 | 通年 | 本社行政ビジネス部長<br>あすたむらんど徳島環境推進G長<br>渦の道・エディ館長<br>川口ダム巡回ディレクター | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ・流水音発生装置の設置 | 随時 | | ○ | | | ○ | ○ |
| ・節水コマの取付拡大 | 随時 | | ○ | | ○ | | |
| ・水補充量の記録 | 通年 | | ○ | | ○ | | |
| ・閉め忘れ防止策設置 | 随時 | | ○ | ○ | ○ | | |
| **OA紙の削減** | | | | | | | |
| ・コピー用紙の裏面および両面使用 | 通年 | 本社行政ビジネス部長<br>あすたむらんど徳島環境推進G長<br>渦の道・エディ館長<br>川口ダム巡回ディレクター | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ・印刷前の枚数、大きさ確認 | 通年 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ・FAX用紙に裏紙使用 | 通年 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ・ミスの削減 | 通年 | | ○ | ○ | | | ○ |
| ・社内資料のペーパーレス化 | 通年 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ・使用枚数の見える化 | 通年 | | ○ | | ○ | | |
| **化学物質の管理** | | | | | | | |
| ・保管状態の数量を定期的に点検する | 通年 | あすたむらんど徳島環境推進G長 | ○ | | ○ | | |
| ・廃液は適正に処理する | 随時 | | ○ | | ○ | | |
| ・化学物質安全データシートの整備と周知 | 通年 | | ○ | | ○ | | |
| ・揮発性ガスの漏れ確認 | 通年 | | ○ | | ○ | | |
| **環境配慮型事業** | | | | | | | |
| ・会社周辺の清掃活動 | 定期 | 本社行政ビジネス部長<br>あすたむらんど徳島環境推進G長<br>渦の道・エディ館長<br>川口ダム巡回ディレクター | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ・とくしまマルシェSDGsワークショップ | 通年 | | | ○ | | | |
| ・出張農園イベント | 通年 | | | ○ | | | |
| ・カブトムシ養殖堆肥作り及び環境学習 | 3月 | | | | ○ | | |
| ・水鉄砲散水イベント | 8月 | | | | ○ | | |
| ・環境月間特別エコ工作 | 随時 | | | | ○ | | |
| ・ネイチャーゲーム | 随時 | | | | | ○ | ○ |
| ・海上45m科学体験イベント | 随時 | | | | | ○ | |
| ・環境教育の普及イベント | 通年 | | | | | | ○ |
| ・廃材を再利用する工作イベント（木工体験等） | 9月 | | | | | | ○ |

※上記の他に、各サイトの特性に見合った環境活動計画を策定している。

## □各施設における目標達成状況及び未達成項目に対する次年度の取り組み

※従来の取組計画は継続する。

：達成

### ①電力の使用量削減

| | 目標達成率 | 次年度の取り組み |
|---|---|---|
| 本社 | 113% | 本社：県等からの受託事業が多くなり、雇用人数も増えたため次第に電力量も増え、目標数値を人数ベースに変更した。次年度も状況を見ながら実態に応じた目標を設定する。 |
| あすたむ | 105% | |
| 鳴門 | 113% | |

### ②化石燃料の使用量削減

| | 目標達成率 | 次年度の取り組み |
|---|---|---|
| 本社 | 149% | あすたむ：夏場（7月～9月）の平均気温が10年間で一番高く、冬場（12月～2月）の平均気温も10年間で5番目に低かったため、使用量が増加した。次年度は、無駄な冷暖房の使用を控え適切な温度設定をし使用量を削減する。<br>川口ダム：今年度より巡回ディレクターの燃料費を合算することになった。遠方の出前授業の回数が増えたため、目標未達成。エコドライブを徹底し、出張等にかかるガソリン使用料を抑えていく。 |
| あすたむ | 90% | |
| 鳴門 | 154% | |
| 川口ダム | 96% | |

### ③一般廃棄物の削減

| | 目標達成率 | 次年度の取り組み |
|---|---|---|
| 本社 | 149% | 次年度も今年度の目標を継続する。 |
| あすたむ | 147% | |
| 鳴門 | 114% | |
| 川口ダム | 132% | |

### ④産業廃棄物の削減

| | 目標達成率 | 次年度の取り組み |
|---|---|---|
| あすたむ | 330% | 次年度も今年度の目標を継続する。 |

### ⑤水使用量の削減

| | 目標達成率 | 次年度の取り組み |
|---|---|---|
| 本社 | 113% | 次年度も今年度の目標を継続する。 |
| あすたむ | 148% | |
| 鳴門 | 142% | |

### ⑥OA紙の使用量削減

| | 目標達成率 | 次年度の取り組み |
|---|---|---|
| 本社 | 85% | 本社／県からの受託事業の増加に伴い、OA紙の使用量も増加した。印刷時の裏紙使用や両面コピー、ミスプリントの注意を促し、OA紙使用量の削減につなげていく。<br>あすたむ／新規事業の書類作成に必要があり、目標をオーバーしたが、裏面を使うなどに枚数削減に取り組む。 |
| あすたむ | 90% | |
| 鳴門 | 122% | |
| 川口ダム | 110% | |

## □環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

| 適用される法規制 | 適用される事項（施設・物質・事業活動等） | 順守状況 | 違反・訴訟の有無 |
|---|---|---|---|
| 廃棄物処理法 | 一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃プラ、ガラスくず、廃油等）<br>適正処理、減量化などに努力/委託基準・保管基準の遵守<br>マニュフェストの管理・保管<br>不法投棄の禁止/不法焼却の禁止 | ○ | 無し |
| 家電リサイクル法 | 特定家庭用機器（冷蔵庫、冷凍庫、テレビ、エアコン、洗濯機）の廃棄時<br>排出抑制、特定家庭用機器廃棄物の運搬する者等への引き渡し、料金支払い | ○ | 無し |
| 自動車リサイクル法 | 自動車購入時にリサイクル券を購入し、廃棄時に自治体に登録された業者に引き渡す | ○ | 無し |
| 消防法（危険物） | 各施設重油タンクの管理、催し物で火気を取り扱う場合、危険物品の取り扱い | ○ | 無し |
| 浄化槽法 | 各施設の浄化槽の基準の遵守<br>保守点検・清掃の実施/法廷検査の実施<br>設置等の届出 | ○ | 無し |
| 大気汚染防止法 | 各施設のボイラーによるばい煙<br>自動車等に対する排出ガスの規制の遵守 | ○ | 無し |
| フロン排出抑制法 | 第1種特定製品（業務用の空調機器・冷凍機）判断基準に基づく措置の実施（簡易定期点検及び定期点検）<br>フロン類の放出の禁止 | ○ | 無し |
| 水質汚濁防止法 | 排水規制（排水基準、総量規制基準等）の遵守<br>事業者による排出水の排出規制等に関する措置、汚水・廃液の公共用水域への排出又は地下への浸透状況の把握及び汚濁防止の必要な措置の実施 | ○ | 無し |
| 瀬戸内環境保全特別措置法 | 特定施設の設置等の許可 | ○ | 無し |
| 毒物及び劇物取締法 | 適切な保管・使用・廃棄処理 | ○ | 無し |
| 化管法 （PRTR法） | PRTR制度対象物質排出量・移動量の把握・届出<br>化学物質による環境汚染の防止のための管理や適切な処置 | ○ | 無し |
| 徳島県生活環境保全条例 | 騒音発生施設の設置等の届出<br>規制基準の遵守 | ○ | 無し |
| 地球温暖化対策推進法 | 事業活動に伴う温室効果ガスの排出抑制に努力（排出抑制等指針） | ○ | 無し |
| ※順守状況ﾁｪｯｸ日：令和 5年3月21日 | 確　認　者 | あすたむらんど徳島総務部長 | |
| ※最新版法律確認日：令和 5年3月21日 | 確　認　者 | あすたむらんど徳島総務部長 | |

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
また、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

## 社員教育【環境研修】

**新人研修**

社内講師による環境研修を実施。あすたむらんど徳島での環境への取り組みやSDGsの基本的内容の研修を実施した。

## 環境月間特別エコ工作

あすたむらんど徳島

**【ペットボトルでジョウロを作ろう！】**

6月の環境月間にあわせ、徳島県環境技術センターの協力により環境に関するイベントを開催した。ペットボトルの再利用として、持ち手を付けビニールテープ等で装飾したジョウロを作る工作を行うことで、リサイクルや環境に対する関心が高まるよう工夫した。

## 環境イベント

あすたむらんど徳島

**あすたむのエコを学ぼう【夏のむしむし大捜査線】**

山地生態系の保護・保全について啓蒙・普及に貢献するために昆虫を用いたイベントを行い、参加者らに昆虫相調査から環境を学んでもらった。

## 環境イベント

### あすたむのエコを学ぼう【カブトムシ養殖堆肥作り及び環境学習】

腐葉土の形成過程でどのような生物が関わっているかの観察を通して、エコロジー（生態系）と炭素循環について学ぶ。観察の過程で得られた生物については持ち帰りを認める。

### あすたむサマーフェスティバル【マイクロプラスチックを観察しよう！】

仮設の砂場の中からマイクロプラスチックを採取して観察する。また海と日本PROJECT in とくしまに協力いただき、会場に海洋ゴミに関する展示物やパネルを設置し、環境問題への興味・関心を育んだ。

## 渦の道・大鳴門橋架橋記念館

### 風向風速計を作って、風について学ぼう

風の強い鳴門海峡の特性を生かし、手作りの風向風速計を作ることで、風について学ぶ機会を創出した。

### 鳴門の自然にふれながら、ビンゴをしよう！

鳴門公園内の自然や生き物を、“見て”“触れる”フィールドワークを実施。ビンゴカードを使って楽しく体験した。

## 環境イベント

### 川口ダム自然エネルギーミュージアム

**自然エネルギー探検隊**

太陽光発電設備や水力発電設備の見学や再生エネルギーについて講義を行うバスツアーを実施した。

**間伐体験**

なぜ間伐が必要なのか、説明や体験を通し山と川の関係と間伐の大切さを学ぶイベントを実施した。

## SDGsワークショップ

### あすたむらんど徳島

**手作り工房【天の川キャンドル】**

七夕向けの工作として、天の川をイメージしたキャンドル作りを実施した。
県内企業より破棄化粧品（口紅）を提供頂き、着色に使用した。
参加者は身近な生活用品のリサイクルについて学びながら思い思いの色合いのキャンドルを作った。

## SDGsワークショップ

### 手作り工房【くるくるハンド扇風機】

モーターの仕組みを学びながら羽を回転させる手持ち扇風機を作る作る工作を実施した。本体の紙筒は古紙や難処理古紙を、再生した
グリーン購入法の基準に適した製品を使用した。

4 質の高い教育をみんなに
12 つくる責任 つかう責任

### 手作り工房【お菓子なおもちゃと木のおもちゃ】

地元企業の活動で排出される破棄資材を用いて，自由におもちゃを作る工作を実施した。
地元企業の活動に触れる事でSDGsの問題を個々でとらえるのではなく、地域でつながりがあるものと考える事で、SDGs活動の意識向上を図った。
廃棄資材は、徳島木のおもちゃ美術館建設時の端材や、徳島県菓子工業組合より破棄資材提供の公募を行い、応募があった企業より提供された菓子の包装紙や紙箱を使用した。

4 質の高い教育をみんなに
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任 つかう責任

## 渦の道・大鳴門橋架橋記念館

### シールラリー！SDGsについて学ぼう ※学習用紙付き

館内の設備を利用し、自然や生き物についてSDGsの観点から学ぶシールラリーを開催した。

4 質の高い教育をみんなに
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさも守ろう

## SDGsワークショップ

### 川口ダム自然エネルギーミュージアム

**木のキーホルダー**

木の廃材を使用したキーホルダー工作を行い、木から木材になるまでの過程を記載した資料をあわせて配布した。

**ペットボトルロケット工作**

ペットボトルロケットの工作教室を行った。ペットボトルを持参した参加者に割引サービスを行い、リサイクルに努めた。

### 本社（とくしまマルシェ）

**畳屋さんの畳ランチマット**

畳の張替えや新調時に出る端材を活用。ものを再利用したり繰り返し使ったりすることで、ゴミになるものをできるだけ少なくするよう周知した。

**ミツロウキャンドル**

ミツロウを活用したキャンドルを使用することで、電気の大切さや環境問題について考える機会を創出。省エネを心掛けることを呼びかけた。

## SDGsワークショップ

### 木粉ECOおえかきうちわ

徳島県産スギの木を製材する過程でできる端材や無垢製材として使えない未利用材を粉砕加工した「木粉」から生まれたエコなうちわ。地域の未利用材の活用について理解を深め、環境に配慮した製品やリサイクルについて学べる。

### ロスフラワーフォトフレーム

花弁の大きさ・茎の質などにより捨てられてしまう「ロスフラワー」を、ドライフラワーやプリザーブドフラワーに生まれ変わらせ、ワークショップに活用。「アップサイクリング」について周知、呼びかけた。

## 会社周辺の清掃活動

### 本社

### あすたむらんど徳島

### 渦の道・大鳴門橋架橋記念館

### 川口ダム自然エネルギーミュージアム

## 主な環境改善の取組

### 本社

救急救命講習
（AED研修）

消火訓練

屋外ゴミ箱
（ゴミの分別表示）

ロッカー室内掲示（電気消し忘れ防止表示）

トイレ内表示（浄化槽機能維持対策）

事務所内表示（冷暖房温度設定）

### あすたむらんど徳島

救急救命講習
（AED研修）

避難訓練

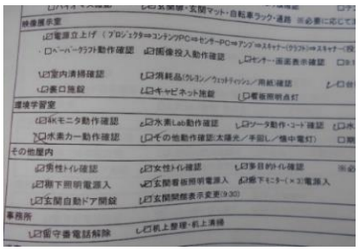
### 渦の道・大鳴門橋架橋記念館

清掃、電源のOFF等のチェック表

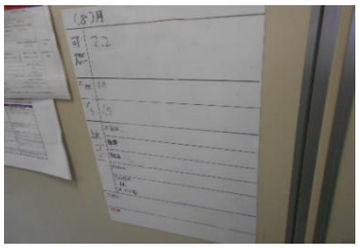
廃棄物チェック表、ごみの分別

OA用紙の使用枚数について削減を促す表示

## 川ロダム自然エネルギーミュージアム



清掃、電源のOFF等の
チェック表



廃棄物チェック表、ゴミの分別

ダム管理事務所合同、緊急事態講習

ゴミの分別

エコアクション勉強会

□代表者による全体の評価と見直し・指示

［環境経営方針］

変更の必要性:無

新型コロナウィルスの感染症はようやく5類になったが、全世界を取り巻く環境の変化の速さに脅威を感じる。過去の人類の傲慢な営みの結果による地球温暖化に伴う気候変動により、私たちは大きな損害を毎年出し続けている。弊社が地域社会にどのように貢献していけるか、環境問題も含めて、SDGsビジョンをそれぞれの部署にて掲げて、一歩ずつではあるが取り組んでいる。環境経営方針を引き続き継続し、社員一人一人のごみ削減や、事業を通じての来場者への環境保護普及啓発活動等、私たちができることを常に考えて実践していく。

［目標・活動計画］

変更の必要性:有

【新型コロナウイルスの対応】

5類になったことにより、本当の意味での「withコロナ時代」になったと感じており、運営施設や各イベントにおいても、コロナ前と変わらない状況まで回復してきたが、電気・水使用量もそれに伴い増加傾向にあるが、お客様に不快感を与えない程度にご協力いただきながら、各項目の削減に取り組んでいく。

【化石燃料の使用量】

あすたむらんどでは化石燃料を使用して空調を調整しているが、夏は暑く冬は寒かった傾向にあり、使用量が増えた。来場者には不快感を与えない程度で協力をお願いし、職員間ではクールビズ・ウォームビズを徹底し、自ら温度調整の工夫をすることを励行していく。

【一般廃棄物の削減】

以前から利用している、事業関係のごみや書類作成に伴うごみ等の不用品を処分した結果、廃棄物の量が増えるという結果になっている。日常的にペーパーレス化（書類確認は画面上で行う）や、再利用ができるものでイベントを製作するなど、廃棄時のごみ量を減らす工夫が必要である。ごみを出さない意識をより浸透化させる。

【産業廃棄物の削減】

産業廃棄物はどの施設も目標が達成できている。再利用素材を使ったり、一度制作したものを他施設、他事業でもアレンジして再利用するなど、社員間での取り組みの結果だと思われる。引き続き、廃棄物の削減意識を高く持ち、取り組んでいく。

【水使用量の削減】

本社での地方自治体のコロナ関連事務局業務事業が前年度に引き続きあったことから、大量の臨時スタッフを雇用せざるを得ず、また長時間での勤務でもあったことから、トイレや飲料としての水利用が増えた。特に上半期は暑かったのも原因であるが、水使用についてはトイレやパントリーでの節水等、各施設での水やりは雨水を使う等の利用を再度徹底を図っていく。

【OA紙の削減】

社全体で受託事務局業務が増えたり、新規事業が増えると、提出資料や告知資料作成のため

［実施体制］

変更の必要性:有

令和４年度はコロナ感染に人々が慣れてきたことで以前のような来場者も戻ってくることを実感した年度であった。新型感染症は地球温暖化による気候変動が原因と言われている。弊社がすべきこと役割をしっかりとらえ、５類になっても風化されることのないように、エコアクションの活動を実施していく。また、子ども達が環境に興味を持つきっかけを作るのが弊社の役割だと考え、弊社運営施設内で環境をテーマに幅広い年齢が体験でいる企画展やサイエンスショー等を積極的に実施していく。

令和5年6月21日

株式会社ネオビエント
代表取締役
藍原　理津子